

いずみさの
教 育



問合先
学校教育課

「次期学習指導要領」にもむけて

平成29年2月14日、次期学習指導要領の改訂案が文部科学省より公表されました。小学校は32年度から、中学校は33年度から、新たな学習指導要領が全面実施される予定です。今回の改訂では、一方的に知識を与えるだけでなく、「主体的・対話的で深い学び」いわゆるアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善をさらに充実させ、単元や題材のまとまりの中で、子どもたちが「何ができるようになるか」を明確にしなが、「何を学ぶのか」という学習内容と、「どのように学ぶか」という学びの過程を組立てていくことが重要とされています。

そこで泉佐野市では、学習規律の徹底、授業の構造化、自主的な学びの推進を3つの柱とし、すべての学校でめざす方向性をそろえた組織的な取組を行っていきけるよう子どもたちの学力向上への取組を進めています。まずは環境整備により、全ての子どもたちが学習に集中しやすい教室づくりをめざします。また、「チャイム行動」を意識づけることで、授業

時間を確保するだけでなく、子どもたちの規範意識を育てています。授業の始めには、「子どもたちの学習意欲を高める「めあて」を提示し、子どもたち自らが各教科各時間に何を学ぶのか意識できるようにしています。また、授業の中には「書く」「話す」「発表する」などの表現活動の機会を適切に設け、友だち同士で1つのテーマについて話し合ったり、クラスの中で自分の考えを説明したりする機会を取り入れています。そして、「ふりかえり」により、自分が何を学んだのかをしっかりと捉えることで、子どもたちの次の学習意欲につながり、ひいては子どもたちの自主的な学びへとつながると考えています。

次期学習指導要領を見据え、子どもたち一人ひとりが、時代の変化を前向きに受け止め、他者と協働しながら自らの可能性を發揮できる力を身に付けられるように、学校と家庭・地域がより一層連携していくことが重要です。



学校園紹介



地域のあたたかさに包まれて
～大木小学校～

大木地区の自然の豊かさや地域の人の温かさにも包まれ、最近では珍しくなった木造校舎のぬくもりの中で、全校児童およそ50人が毎日元気に学習活動を行っています。

本校にはたくさんの特色ある取組があります。地域とのつながりを象徴する行事の一つが秋に行われる「大木まつり」です。この取組は、春に行う「大木探検」がスタートです。全校縦割り班で大木地区の自然や生き物、文化遺産について学び、調べ、校内報告会を行います。その報告を秋に保護者や地域のみなさんに向けて発信するのが「大木まつり」の大きな目的です。昨年度は、大木にしか生息しない植物や珍しい生き物をスクリーンに映し出し、子どもたちが調べた内容や感じたことを発表する姿を体育館に集まっていた多くの人びとに褒めていただきました。



一昨年からは、体育館では作品展を催しています。子どもたちの図工作品に加えて、今回も地域のみなさんに多くの美術作品や工芸作品をお持ちいただきました。子どもたちが本物と出会う素晴らしい機会です。さらに、運動場を会場にした交流の場では、子どもたちが縦割り班で運営する手作り体験コーナーにたくさんの人びとが集まってくれました。お客さんの呼び込みをする様子や小さな子どもたちに一生懸命教えてあげている姿は微笑ましく、子どもたちの貴重な体験となります。地域のみなさんやPTA・子ども会のみなさんには、たくさんの食べ物・飲み物も準備していただき、お腹も心もいっぱいにさせていただきました。取組でした。

これからも、保護者・地域・学校が連携・協働し、子どもたちを中心においた取組を進めていきたいと思



「つながり」を大切に
～のぞみこども園～

こども園として3年目を迎えました。のぞみ棟では3～5歳児、北棟では0～2歳児が共に園生活を送り、日々の保育や行事を通して交流をもつことを心がけています。「相手の話を聴いてみたい」「友達と一緒にやっておもしろい」「だからみんなに伝えたい」と心動く保育を通して、相手の思いや存在を感じながら共に成長していくクラス集団をめざして、日々の保育に取り組んでいます。

めざす子ども像

- 友達を思いやり、認め合う子ども
- 人の話を聴き、自分の思いを表現できる子ども
- 興味をもって取り組み、やり抜く子ども
- 自分で考え、自ら行動できる子ども

大切にしていること

● 異年齢交流…毎月0～3歳児クラスの誕生会で、4・5歳児クラスが順番にお祝いの歌をプレゼントしています。

その他にも、クラス以外の友達とのかかわりがもてるように、クラスを解体して給食を食べる「ハッピーランチ」やリトミックなどを通して意識的に交流をすることで、思いやりや憧れの気持ち、人とかかわる力や豊かな心を育てています。



● 子育て支援事業…子育て中の保護者が集ってつながりがもてるように、遊びの教室・園庭開放・施設開放・行事開放など、地域に根ざした子育て支援事業を行っています。

